

〔薬学雑誌 100, 574 (1980)〕

Duboisia 属植物の研究 (第5報)

培養細胞中のアルカロイドについて

影井健吾, 池田 信, 里 忠, 緒方善武, 豊島昭二*, 松浦 信

Studies on *Duboisia* Species. V.

Alkaloids in Cultured Cells of *Duboisia leichhardtii*

KENGO KAGEI, MAKOTO IKEDA, TADASHI SATO, YOSHITAKE OGATA,
SHOJI TOYOSHIMA, SHIN, MATSUURA

Duboisia leichhardtii F. MUELL の培養細胞よりアルカロイドを抽出し, GLC および GC-MS で検討した結果, peak 1 は nicotine, peak 2 は isobutyrolytropine, peak 3 は valeroyltropine とそれぞれ同定した。また peak 4 は精査できなかった。

本実験において valeroyltropine および nicotine が確認されたことは, 本植物の培養細胞中では生合成中間体の N-methylpyrrolinium までは明らかに生合成されているが, tropic acid の生合成機能が特異的に抑制を受けているものと考えられる。

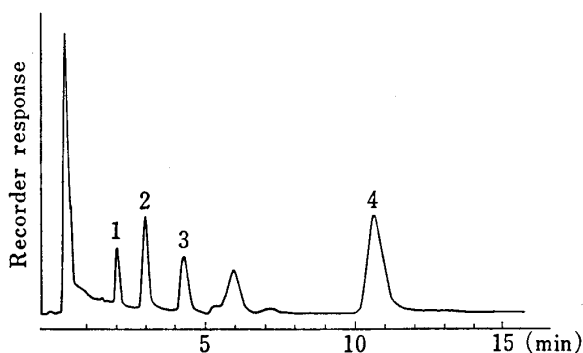


Chart 1. GLC Chromatogram of Alkaloids in Cultured Cells of *Duboisia leichhardtii* F. MUELL